

「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 2 年 6 月 8 日

事業名称	戸籍事務費 [戸籍関係事務]								
予算科目	款 2	総務費	項 3	戸籍住民基本台帳費	目 1	戸籍住民基本台帳費	事業番号	2	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) <input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの								
担当部署・課長名	市民課 課 戸籍係 係				課長名	梶川義夫			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	行 - 2			
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現					総合計画書 (ページ)	122			
この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。		①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）						
	戸籍届出		→ 本籍数（3月31日現在）						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 正確に戸籍に記載し、素早く証明を発行できるようにする。		② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 届出処理件数						
指標の推移	③ そのために何をしましたか。 届出受理後、平日中3日以内に証明書を出せるようにする。		③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） 戸籍証明書の発行件数						
			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標	
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	
3 経費	対象指標	①の数値	件	27,045	27,258	27,432			
	成果指標	②の数値	件	3,839.0	3,713.0	3,877.0			
	目標	②の目標値	目標値設定の考え方（課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。）						
4 課題	活動指標	③の数値	件	18,862	18,883	19,589			
	事業費（実績）	円	20,318,251	21,312,543	22,357,434	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外）年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	11,471,701	12,614,243				13,924,784
（自安）	特定財源	円	8,846,550	8,698,300	8,432,650				
	(うち受益者負担)	円	8,673,750	8,698,300	8,347,650				
	人件費	所要人数(再任用以外)	人	5.0	5.0				5.0
	所要人数(再任用)	人	1.0	0.0	0.0				
	職員人件費(再任用以外)	円	41,265,000	41,220,000	41,550,000				
職員人件費(再任用)	円	3,020,000	0	0					
事業費+人件費	円	64,603,251	62,532,543	63,907,434					
5 今後の方向性	今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ※廃止したものを除く								
	現在のメンバーで事務を行う分には問題ないが、異動があった際に同じ処理速度は維持できない。								
	令和2年4月から窓口業務等委託を実施し、民間のノウハウ等を活用する。								
仕事の方向性（「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）	※廃止したものを除く								
戸籍経験が長く異動が近い職員について、庶務を担当してもらう。									
その職員に頼らずとも、戸籍事務を行うことができるようになり、異動に備える。									
各マニュアルを作成し、職員の異動時の処理速度の低下を抑えるようにする。									